

ARB	各病院コメント
三次中央	ARBに関しては、引き続きアジルサルタン錠20mgの増加傾向が見られました。
三次地区医療センター	アジルサルタン増加、オルメサルタン・テルミサルタン・オプシオン減少。 総数は減少しましたが、推奨薬の比率は上昇していました。
庄原赤十字病院	採用品目については順調に切り替えが行われ、現在は安定的に処方されている
西城市民病院	テルミサルタンは減少していますが、 アジルサルタン、オルメサルタンは増加しています。
PPI, P-CAB	各病院コメント
三次中央	PPIに関しては、緩やかではありますがエソメプラゾールカプセル20mgが微増していました。
三次地区医療センター	エソメプラゾール・ボノプラザンが大きく増加、ラベプラゾール大きく減少。 総数は先月とほぼ変わらずも、推奨薬の比率は低下しました。
庄原赤十字病院	採用品目については順調に切り替えが行われ、現在は安定的に処方されている
西城市民病院	推奨薬もオプシオン薬も増加しています。
スタチン	各病院コメント
三次中央	スタチンに関しては、オプシオンであるプラバスタチン錠10mgの使用が急増していました。
三次地区医療センター	ロスバスタチン減少、プラバスタチン大きく減少。総数は減少しましたが、推奨薬の比率は上昇しました。
庄原赤十字病院	採用品目については順調に切り替えが行われ、現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ロスバスタチン、プラバスタチンは増加
α -GI	各病院コメント
三次中央	ミグリトールOD錠50mgの処方量は、全体的に緩やかな減少が見られます。
三次地区医療センター	先月と比較しほぼ変動なしです。
庄原赤十字病院	後発品の採用が実施されていない
西城市民病院	減少傾向
抗ヒ薬	各病院コメント
三次中央	抗ヒスタミン薬に関しては、採用の5品目全てにおいて増加傾向が見られ、 時期的にも相まって、フェキシフェナジンDS50%の処方量は急増していました。
三次地区医療センター	フェキシフェナジン・オロパタジンは減少、ビラスチンが大きく増加しています。
庄原赤十字病院	採用品目については順調に切り替えが行われ、現在は安定的に処方されている
西城市民病院	花粉症の時期でもあり、オロパタジンが前月の倍以上、レボセチリジンも増加しています。
消炎鎮痛薬	各病院コメント
三次中央	アセトアミノフェン細粒の処方量が急増していました。(原因不明)
三次地区医療センター	アセトアミノフェンやや減少、ロキソプロフェンが半減しています。
庄原赤十字病院	一部の品目で後発品の採用が実施されていない
西城市民病院	セレコキシブの増加が目立ちました。
歯口腔術後抗菌薬	各病院コメント
三次中央	AMPC(推奨薬)もCAM(オプシオン)も増加傾向が見られました。
三次地区医療センター	該当処方なし
庄原赤十字病院	一部の品目で後発品の採用が実施されていない
西城市民病院	クラリスロマイシンは減少
ビスホスネート製剤	各病院コメント
三次中央	当院においても2品目(推奨薬・オプシオン)の処方は、一定量使用されていると思います。
三次地区医療センター	アレンドロンはやや増加しています。
庄原赤十字病院	後発品の採用が実施されていない
西城市民病院	リセドロン酸Naが増加
ヘルペス薬	各病院コメント
三次中央	今年に入り増加傾向ですが、全体的には少ない時期だと思っています。
三次地区医療センター	単純疱疹で1例の処方あり。
庄原赤十字病院	使用量は多くないが、ヘルペスの治療に使用されるのはリストの品目のみ
西城市民病院	ファムシクロビルが増加